

岩手県 **こども** モニター

令和7年度 アンケート(第三回)

ほうこくしょ

報告書



令和8年2月

せいさくきかくぶ こうちょうこうほうか
岩手県 政策企画部 広聴広報課



1

アンケートの概要

がいよう



きかん
アンケート期間

令和8年1月6日(火)~1月26日(月)

かいとう
回答した人数

105人

わりあい
答えてくれた人の割合

91.3% (105人/115人)

アンケート方法

インターネットによるモニター^{ちようさ}調査

テーマ

1. 食の安全安心と食育^{しょくいく}について
2. 男女平等の実現^{じつげん}にむけて
3. 子どもの居場所^{いばしょ}について
4. 公園を使いやすくする取り組みについて



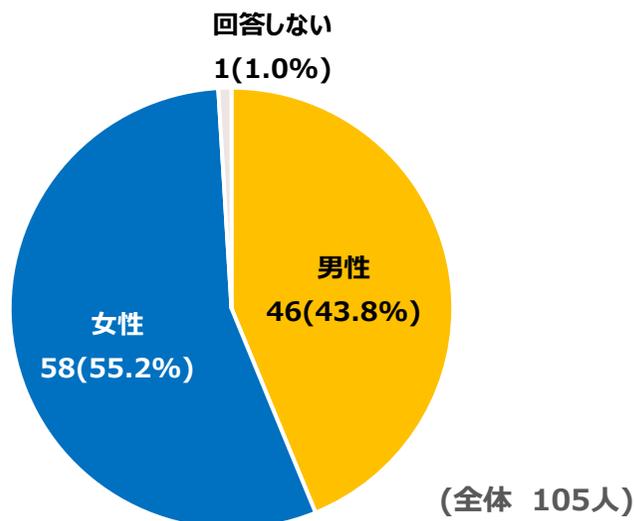
2

かいとうしゃ

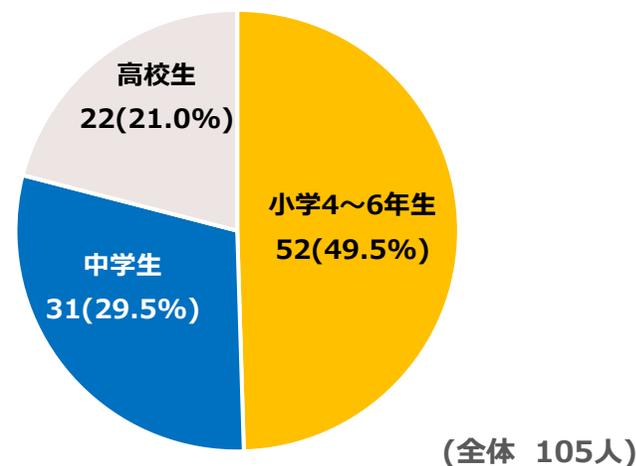
回答者について



せいべつ
性別



がくねん
学年



	男性	女性	回答しない	計
小学4~6年生	25人	27人	0人	52人
中学生	13人	18人	0人	31人
高校生	8人	13人	1人	22人
計	46人	58人	1人	105人



3

調査結果

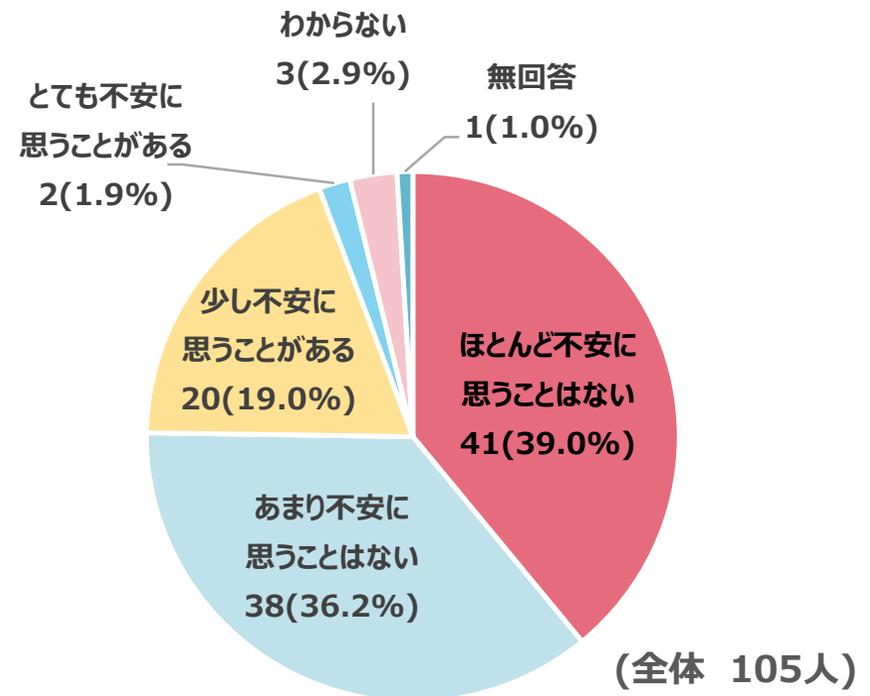
しょくいく

テーマ1：食の安全安心と食育について



問1 ふだん、食べものを買うときに、安全かどうかについて不安に思うことが
ありますか。(一つ選んでください)

- ふだん、食べものを買うときに、安全かどうか不安に
思うかについて、「ほとんど不安に思うことはない」
は41人(39.0%)、「あまり不安に思うことはない」
は38人(36.2%)で、およそ4人に3人は不安に思
うことはないと答えています。
- 一方で、「少し不安に思うことがある」は20人
(19.0%)、「とても不安に思うことがある」は2人
(1.9%)で、2割くらいの方は不安を感じていること
がわかります。



3

調査結果

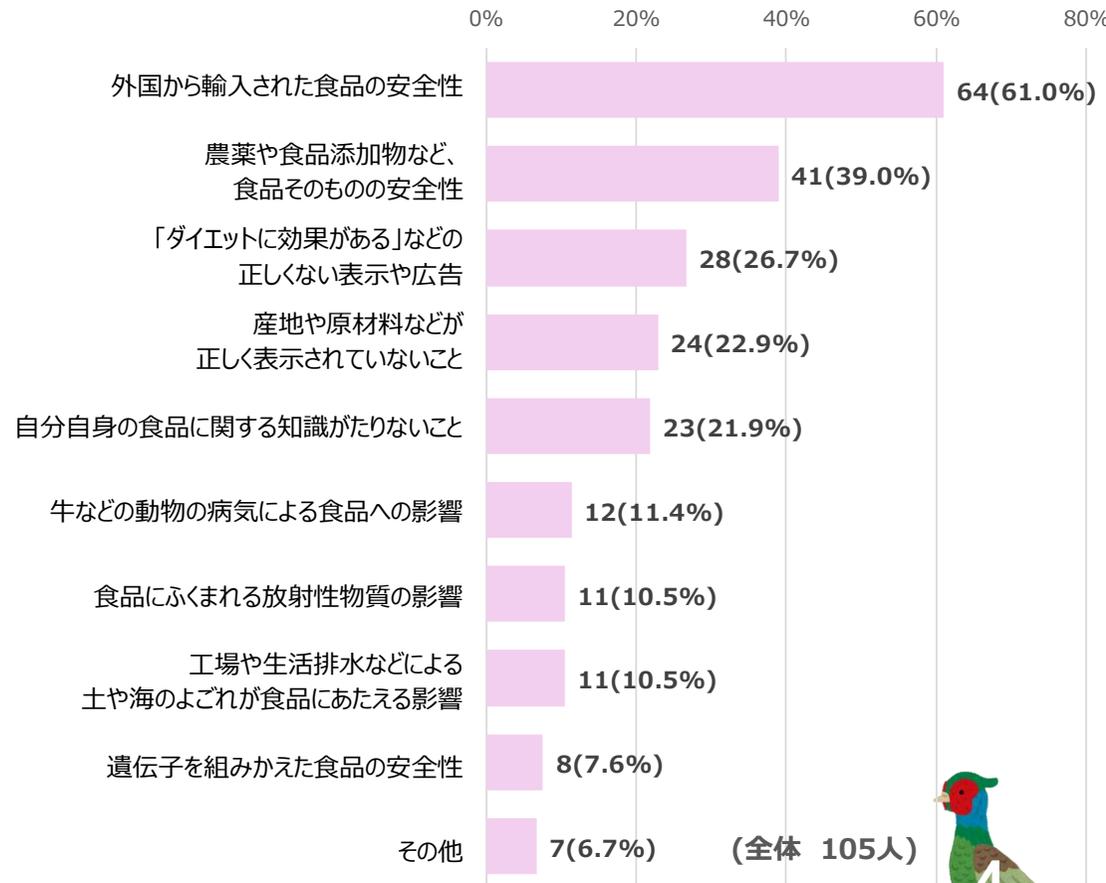
しよくいく

テーマ1：食の安全安心と食育について



問2 あなたが食品について不安に感じていること、または「もし不安に感じるとすれば、こういうことだ」と思うことはなんですか。(3つまで選んでください)

- 不安に思うことについて、「外国から輸入された食品の安全性」が64人(61.0%)と最も多く、ついで「農薬や食品添加物など、食品そのものの安全性」が41人(39.0%)、「『ダイエットに効果がある』などの正しくない表示や広告」が28人(26.7%)、「産地や原材料などが正しく表示されていないこと」が24人(22.9%)となっています。食品そのものの安全だけでなく、表示や情報の正しさを不安に思う人も多くみられました。
- 「その他」では、『総菜などの調理が適切か』、『食物アレルギーへの不安』などの回答がありました。



3

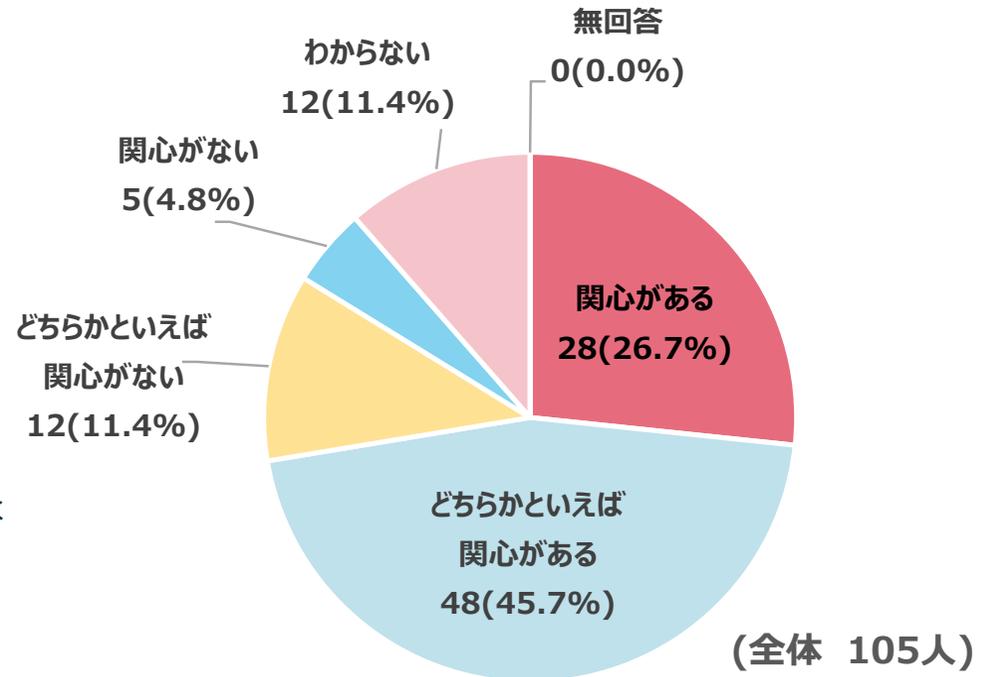
調査結果

テーマ1 : 食の安全安心と食育について



問3 あなたは「食育」に関心がありますか。(一つ選んでください)

- 「食育」への関心について、「関心がある」は28人(26.7%)、「どちらかといえば関心がある」は48人(45.7%)で、関心がある人は7割を超えています。
- 一方で、「どちらかといえば関心がない」は12人(11.4%)、「関心がない」は5人(4.8%)で、関心がない人はあわせて16.2%となりました。また、「わからない」と答えた人は12人(11.4%)で、「食育」が身近に感じられていない人が3割くらいいました。



3

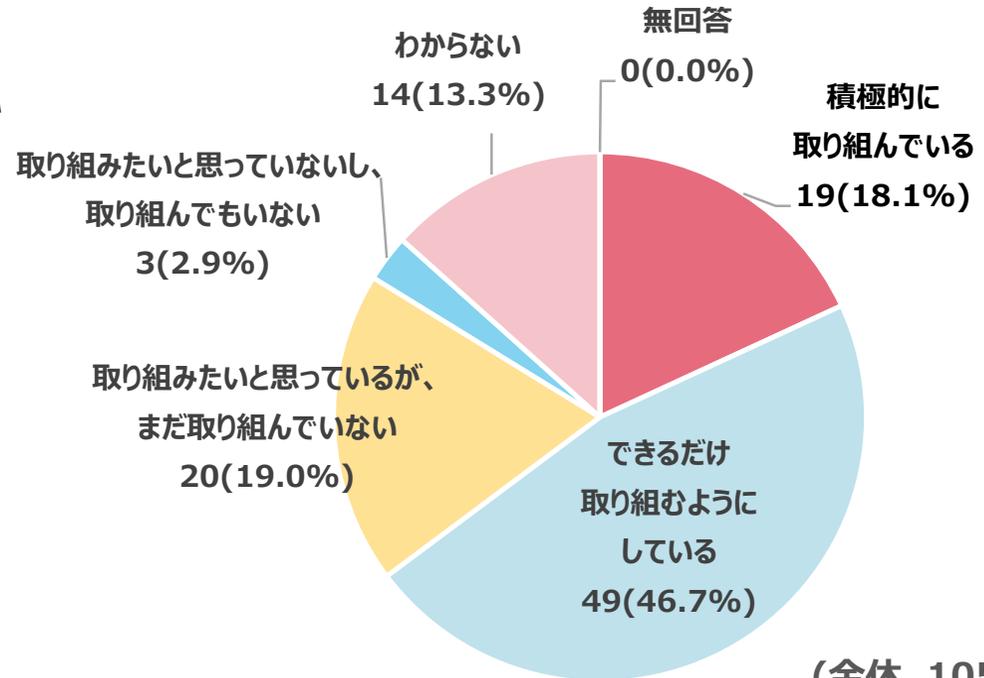
調査結果

テーマ1 : 食の安全安心と食育について



問4 あなたは「食育」の取り組みをしていますか。(一つ選んでください)

- 「食育」の取り組みについて、「積極的に取り組んでいる」は19人(18.1%)、「できるだけ取り組むようにしている」は49人(46.7%)で、取り組んでいる人はあわせて64.8%となっています。
- 一方で、「取り組みたいと思っているが、まだ取り組んでいない」は20人(19.0%)で、およそ5人に1人は取り組みたい気持ちはあるものの実行できていないと答えています。
- 全体として、実際に取り組んでいる人が多い一方で、取り組みたいと思いつつながら実行できていない人も一定数いることがわかります。



3

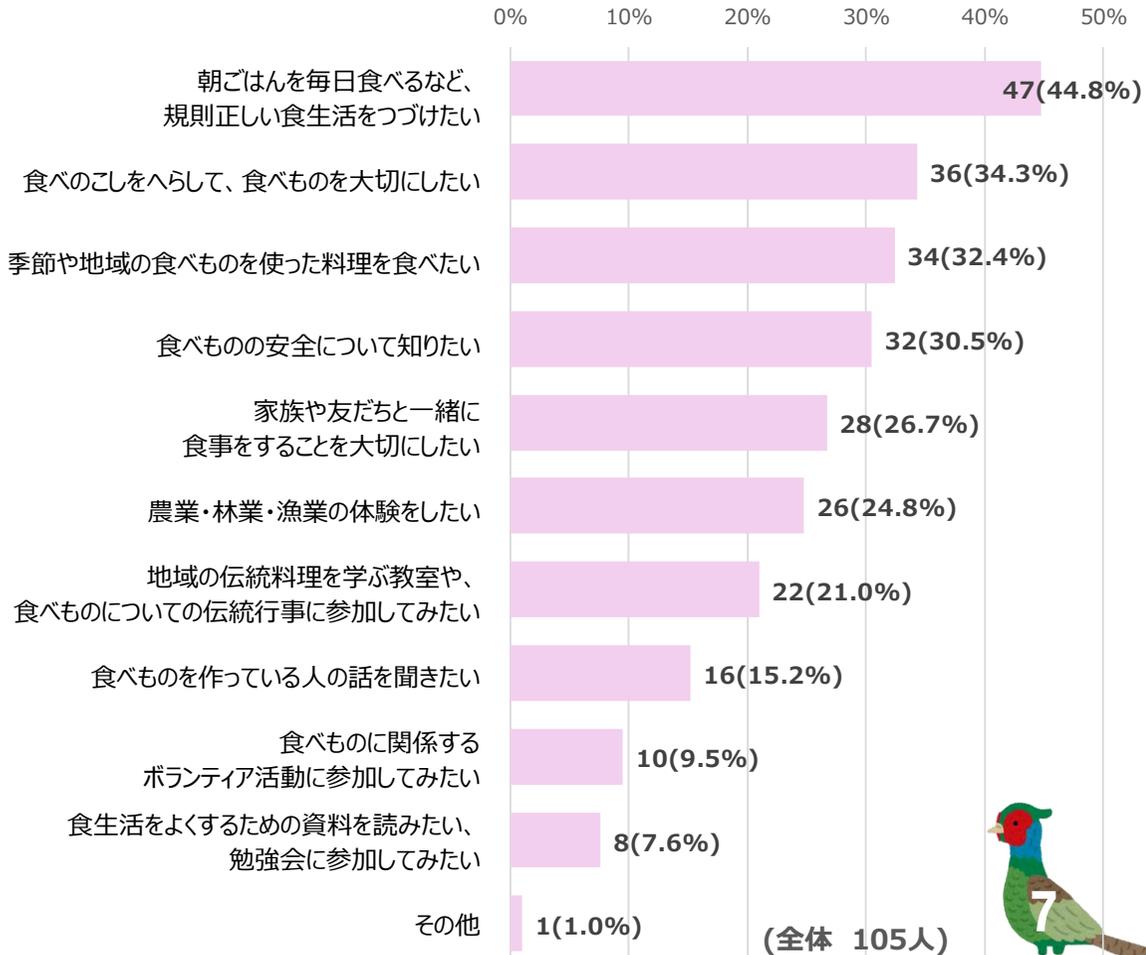
調査結果

テーマ1 : 食の安全安心と食育について



問5 あなたは、これから「食育」の取り組みとして、どのようなことをしてみたいと思いますか。(3つまで選んでください)

「食育」の取り組みとしてやってみたいことは、「朝ごはんを毎日食べるなど、規則正しい食生活をつづけたい」が47人(44.8%)と最も多くなっています。ついで、「食べるこしをへらして、食べものを大切にしたい」が36人(34.3%)、「季節や地域の食べものを使った料理を食べたい」が34人(32.4%)、「食べものの安全について知りたい」が32人(30.5%)でした。日々の食生活についての項目が上位となる一方、食べものに関する学びや体験への関心もみられました。



4

調査結果

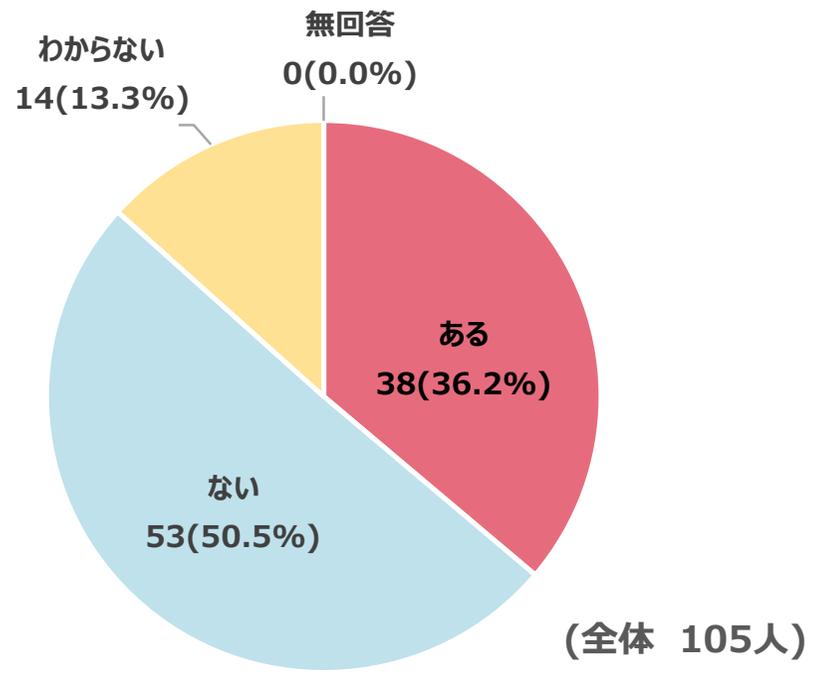
じっげん

テーマ2 : 男女平等の実現にむけて



問1 学校や家庭、地域の行事などで「男の子だから」「女の子だから」という理由で、特別にあつかわれていると感じたことはありますか。(一つ選んでください)

- 学校や家庭、地域の行事などで「男の子だから」「女の子だから」という理由で、特別にあつかわれていると感じたことがあるかについて、「ない」と答えた人が53人(50.5%)と約半数を占めています。
- 一方で、「ある」と答えた人も38人(36.2%)と3割を超えており、性別を理由にした特別なあつかいを感じたことがある人も一定数みられました。また、「わからない」と答えた人は14人(13.3%)でした。

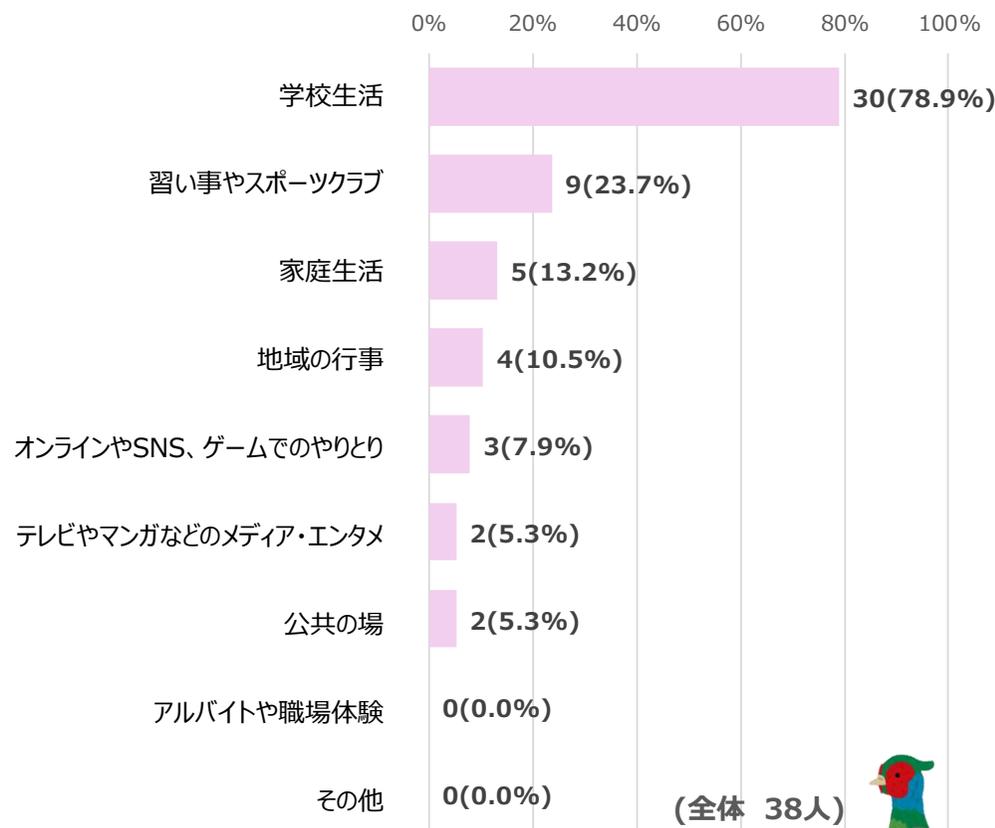




問2 問1で「ある」と答えた人に聞きます。どんなときに、そう感じましたか。

えら
(いくつでも選んでください)

- 性別を理由にした特別なあつかいを感じたことがある人に、どんなときにそう感じたかを聞いたところ、「学校生活」が30人(78.9%)と8割近くを占めており、服装・髪型、運動会の種目、体育の授業、部活動、学校行事、生徒会、進路などの学校生活の場面で感じた人が多いことがわかりました。
- ついで、「習い事やスポーツクラブ」が9人(23.7%)、「家庭生活」が5人(13.2%)、「地域の行事」が4人(10.5%)となり、学校生活以外の場面でも感じた人がいることがわかりました。



4

調査結果

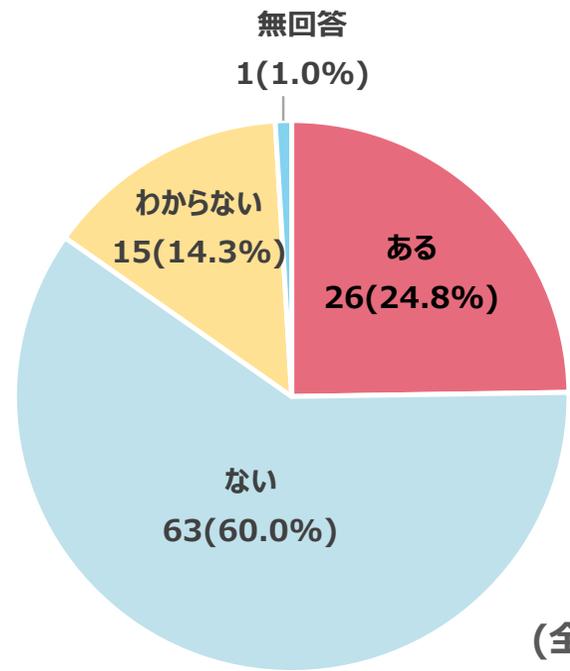
じっげん

テーマ2 : 男女平等の実現にむけて



問3 「男なのに・だから」「女なのに・だから」などと言われて、いやな気持ちになったり、モヤモヤしたりしたことはありますか。(一つ選んでください)

- 「男なのに・女なのに」などと言われて、いやな気持ちになったり、モヤモヤしたりしたことがあるかについて、「ない」と答えた人が63人(60.0%)と6割を占めています。
- 一方で、「ある」と答えた人は26人(24.8%)とおよそ4人に1人が、言葉かけによっていやな気持ちになった経験があると回答しました。また、「わからない」と答えた人は15人(14.3%)でした。



4

調査結果

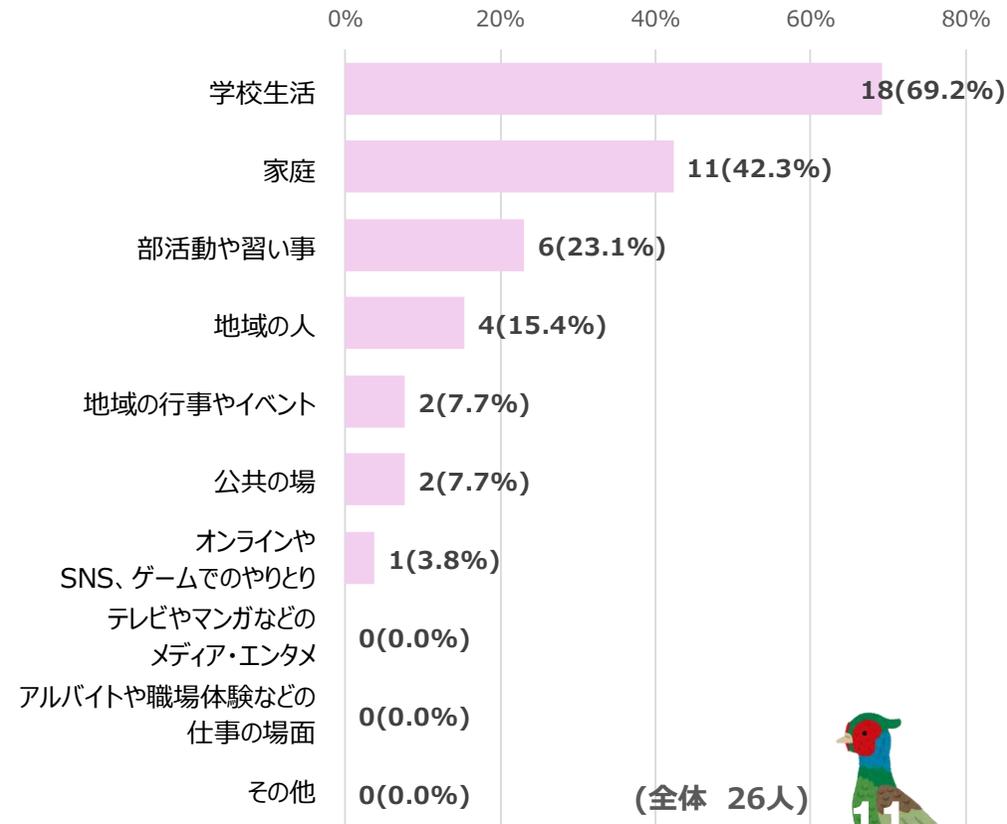
じっげん

テーマ2：男女平等の実現にむけて



問4 問3で「ある」と答えた人に聞きます。どんな場面で、だれに言われたときに、
そう感じましたか。(いくつでも選んでください)

- 「男なのに・女なのに」などと言われて、いやな気持ちになったり、モヤモヤしたりしたことがある人に、どんな場面で、だれに言われたときにそう感じたかを聞いたところ、「学校生活」が18人(69.2%)と7わりし割近くを占めています。ついで、「家庭」が11人(42.3%)、「部活動や習い事」が6人(23.1%)となりました。
- 「男なのに・女なのに」といった言葉は、学校生活(先生や友だち、クラスメイトなど)や家庭(お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなど)など、身近な場面で言われたと感じる人が多くなっています。



4

調査結果

じっげん

テーマ2 : 男女平等の実現にむけて



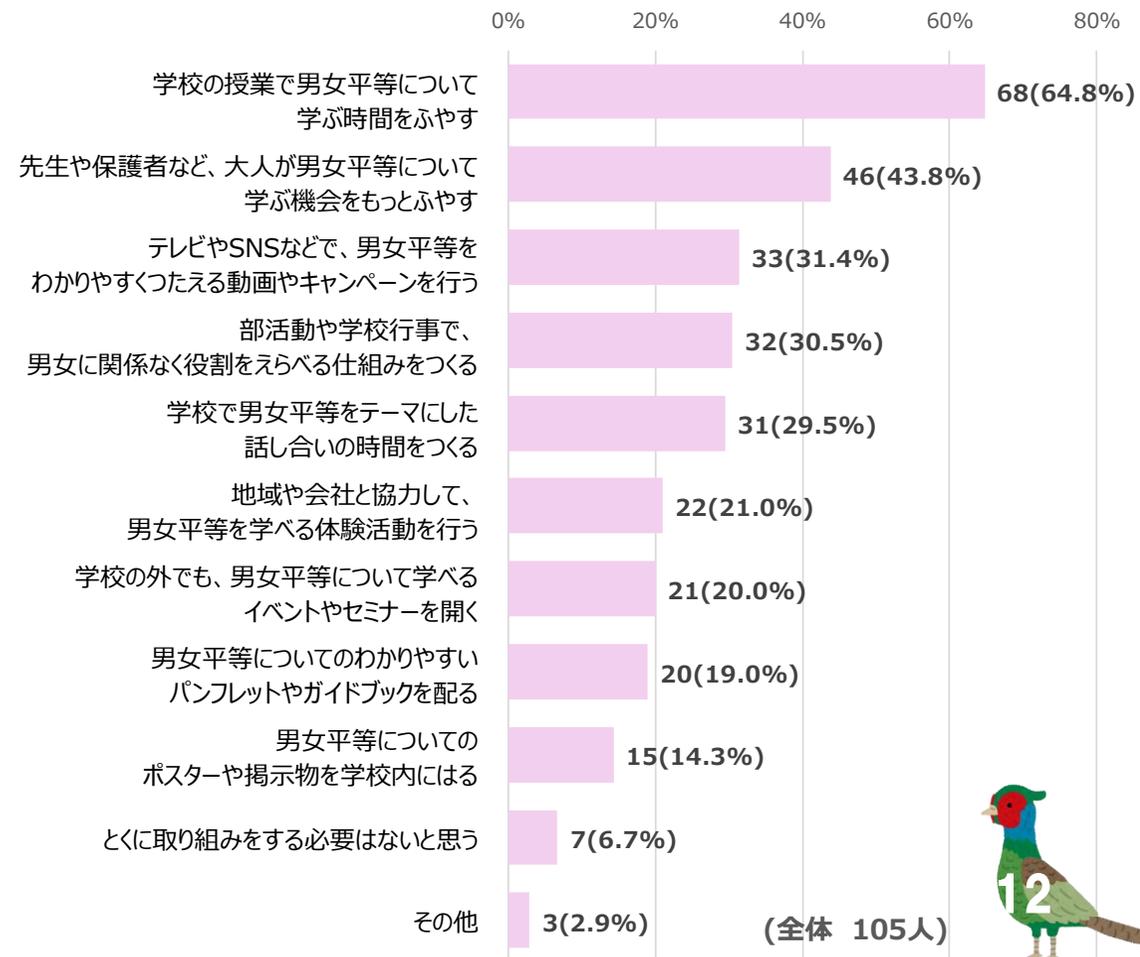
じっげん

問5 男女平等を実現するために、どんな取り組みをしたらよいと思いますか。

えら

(いくつでも選んでください)

- 男女平等を実現するために、どんな取り組みをするとよいと思うかについて、「学校の授業で男女平等について学ぶ時間をふやす」が68人(64.8%)と最も多く、ついで、「先生や保護者など、大人が男女平等について学ぶ機会をもっとふやす」が46人(43.8%)となっています。学校での学びに加えて、大人や社会全体に学びを広げることを求める声が多くみられます。
- 「その他」では、『教員への指導』、『おじいちゃん、おばあちゃん世代への講習』などの回答がありました。



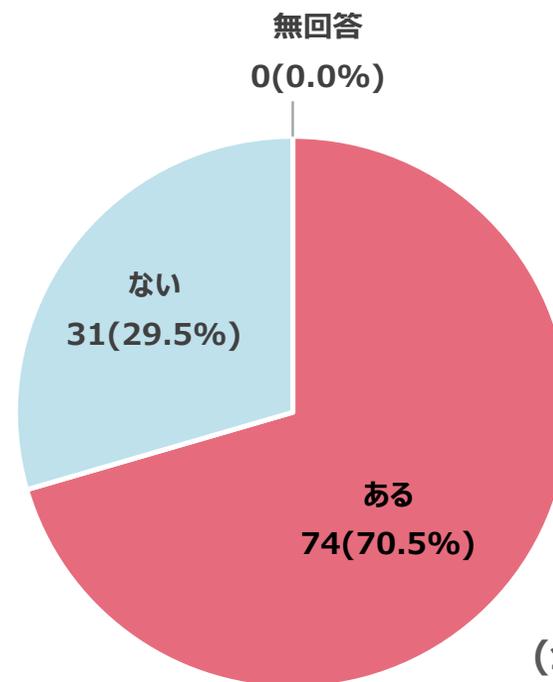
5 調査結果

いばしよ テーマ3 : 子どもの居場所について



問1 あなたは、家や学校(授業や部活、クラブ活動)のほかに、「ここにいたい」と感じる居場所がありますか。(一つ選んでください)

- 家や学校(授業や部活、クラブ活動)のほかに、「ここにいたい」と感じる居場所があるかについて、「ある」と答えた人が74人(70.5%)とおおよそ7割を占めています。一方で、「ない」と答えた人も31人(29.5%)と3割近くみられました。
- 全体として、家や学校以外にも居場所がある人が多い一方、そうした居場所がないと感じている人も一定数いることがわかります。





5

調査結果

いばしょ

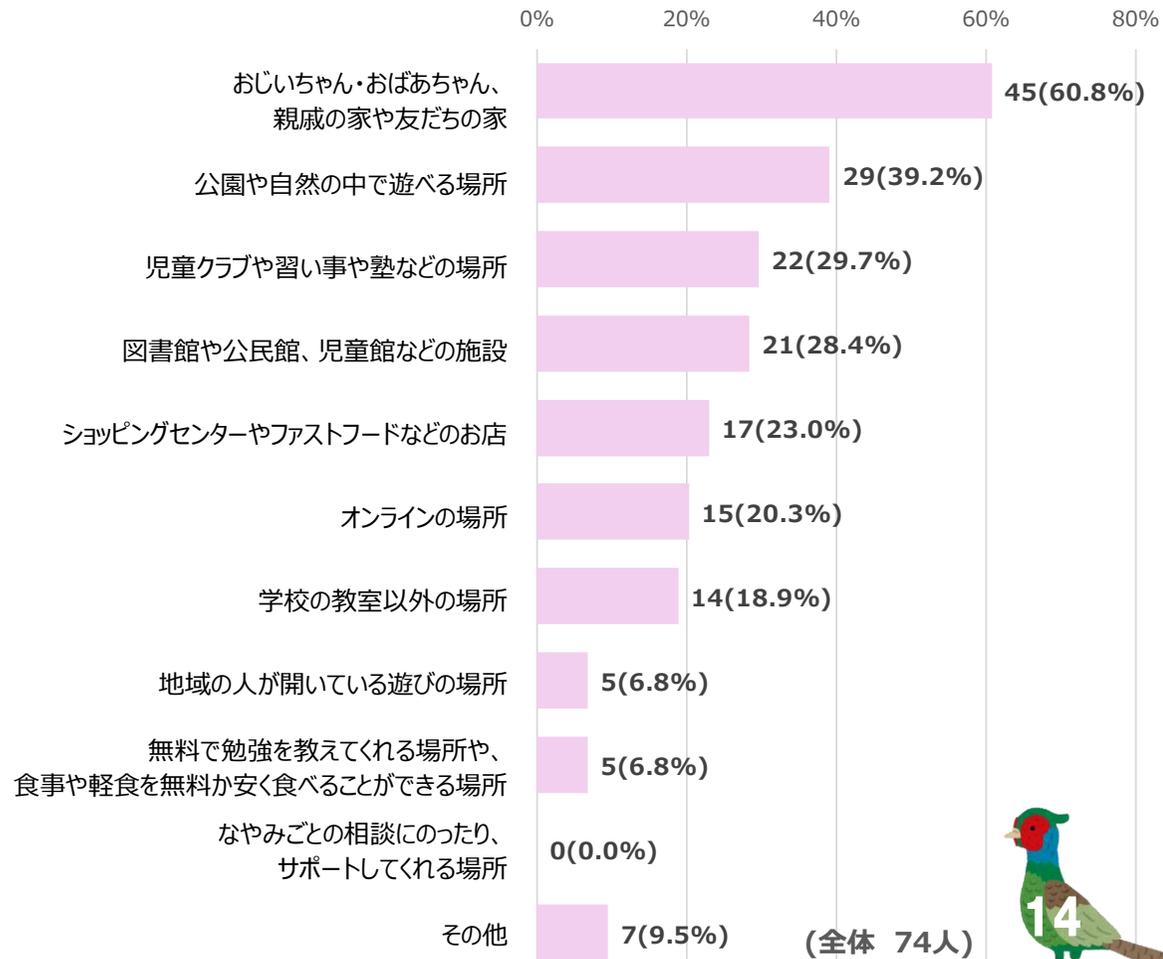
テーマ3 : 子どもの居場所について

問2-1 その「ここにいたい」と感じる場所は、どこですか。(いくつでも選んでください)

※問1で居場所が「ある」と答えた人のみ

- 「ここにいたい」と感じる居場所がある人^{いばしょ}に、その場所を聞いたところ、最も多かつた^{もっと}のは「おじいちゃん・おばあちゃん、親戚^{しんせき}の家や友だちの家」で45人(60.8%)でした。ついで、「公園や自然の中で遊べる場所^{しぜん}」が29人(39.2%)となっています。身近な人の家や外で遊べる場所が居場所^{いばしょ}になっている人が多くみられます。

- 「その他」では、『博物館』、『学童』、『海外』^{はくぶつかん}などの回答^{かいとう}がありました。



14

5 調査結果

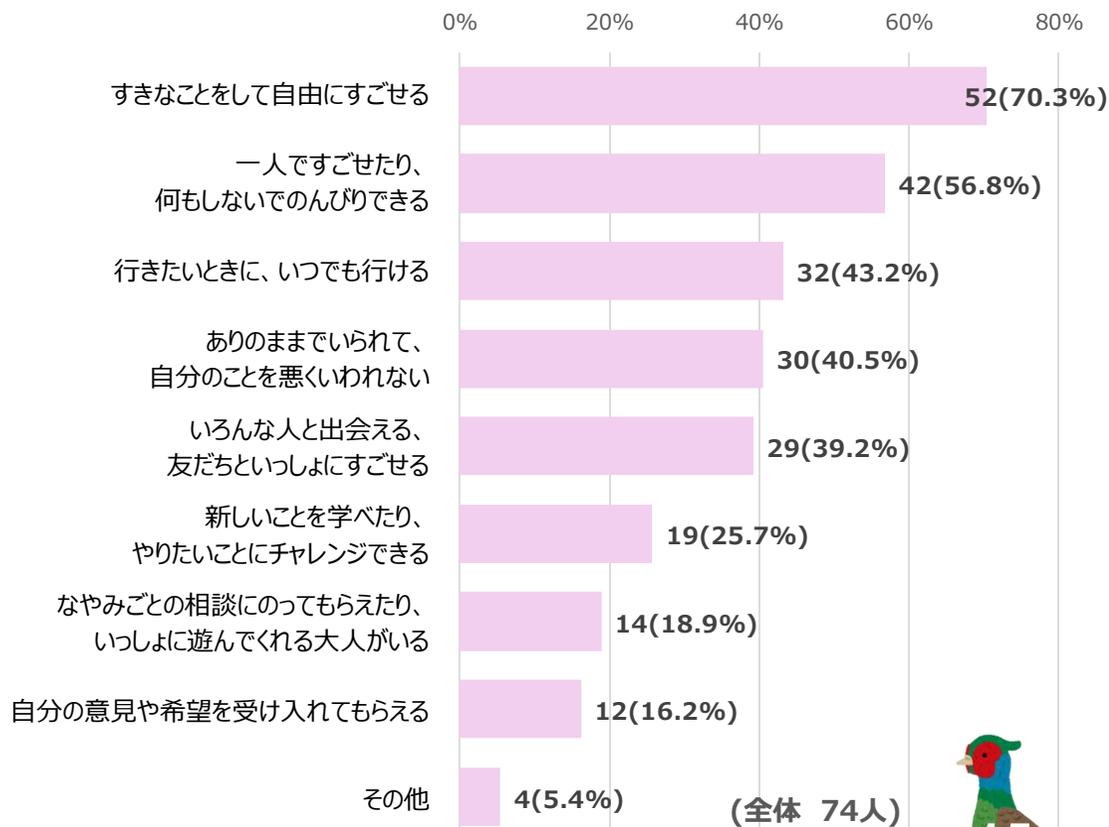
いばしよ テーマ3 : 子どもの居場所について



えら
問2-2 問2-1で選んだ場所は、あなたにとってどのような場所だと感じますか。

えら
(いくつでも選んでください) ※問1で居場所が「ある」と答えた人のみ
いばしよ

- 問2-1で選んだ居場所について、どのような場所だと感じるかを聞いたところ、「好きなことをして自由にすごせる」が52人(70.3%)と最も多く、ついで、「一人ですごせたり、何もしないでのんびりできる」が42人(56.8%)となっています。自由にすごせることや安心していられることを求める人が多いことがわかります。
- 「その他」では、『ふだん落ち着いた場所』、『たいけん普段はできないような体験ができる』などの回答がありました。



5 調査結果

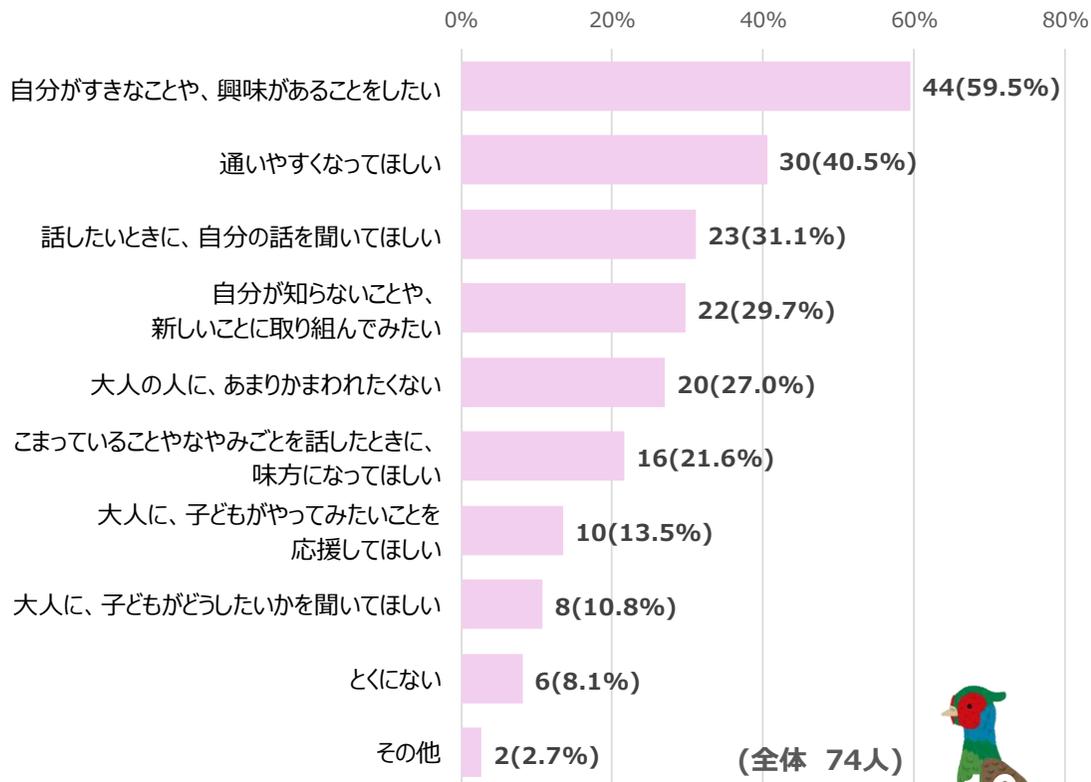
いばしょ テーマ3 : 子どもの居場所について



いばしょ
問2-3 あなたが、その居場所でやってみたいことや、「もっとこうだったらいいの
に」と思うことはありますか。(いくつでもえらんでください)

いばしょ
※問1で居場所が「ある」と答えた人のみ

- いばしょ
その居場所でやってみたいことや、「もっとこう
だったらいいのに」と思うことについて「自分が
好きなことや、興味があることをしたい」が44
人(59.5%)と最も多く、ついで、「通いやすくな
ってほしい」が30人(40.5%)となっていま
す。自由に好きなことができることに加え、通
いやすい環境を求める声が多くみられました。
- 大人とのかかわり方は、「話したいときに、自分
の話を聞いてほしい」と「大人の人に、あまりか
まわれたい」がともに3割前後で意見が分
かれました。



5 調査結果

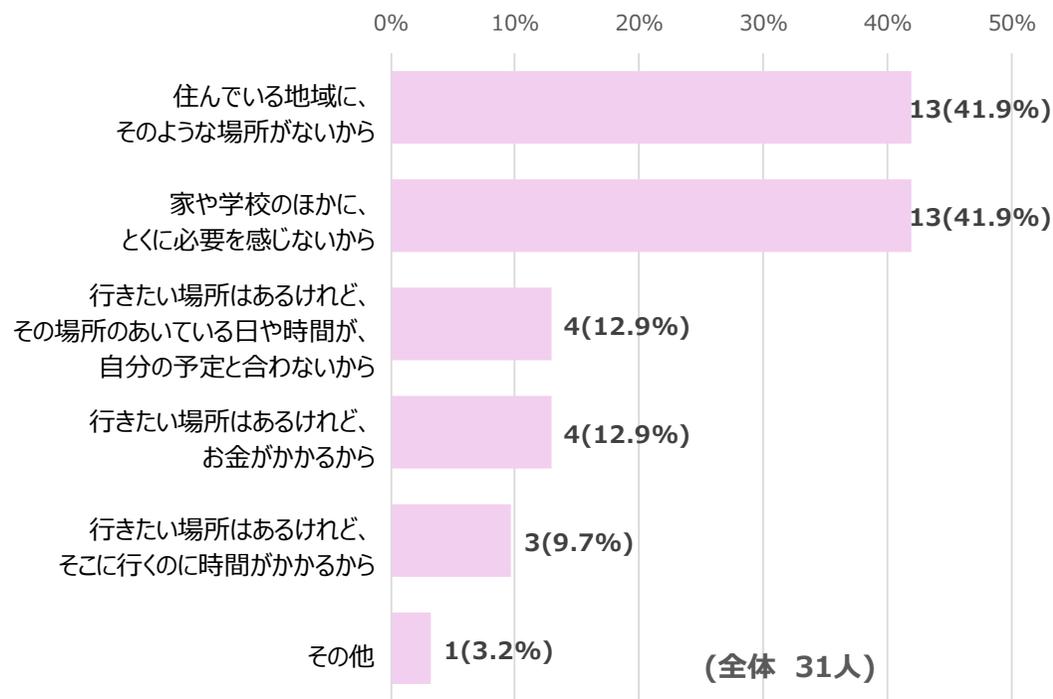
いばしょ テーマ3 : 子どもの居場所について



じゅぎょう 問3-1 家や学校(授業や部活、クラブ活動)のほかに、「ここにいたい」と感じる場所がない理由は、なぜだと思いますか。(いくつでも選んでください)

えら
いばしょ
※問1で居場所が「ない」と答えた人のみ

- 家や学校のほかに「ここにいたい」と感じる場所がない理由について、「住んでいる地域に、そのような場所がないから」と「家や学校のほかに、とくに必要を感じないから」がともに13人(41.9%)で最も多くなっています。また、時間や予定、お金などの理由をあげる人も少しですがみられました。
- 「その他」では『自分が大好きと思えるところできがいてほしいから』といった回答がありました。





5

調査結果

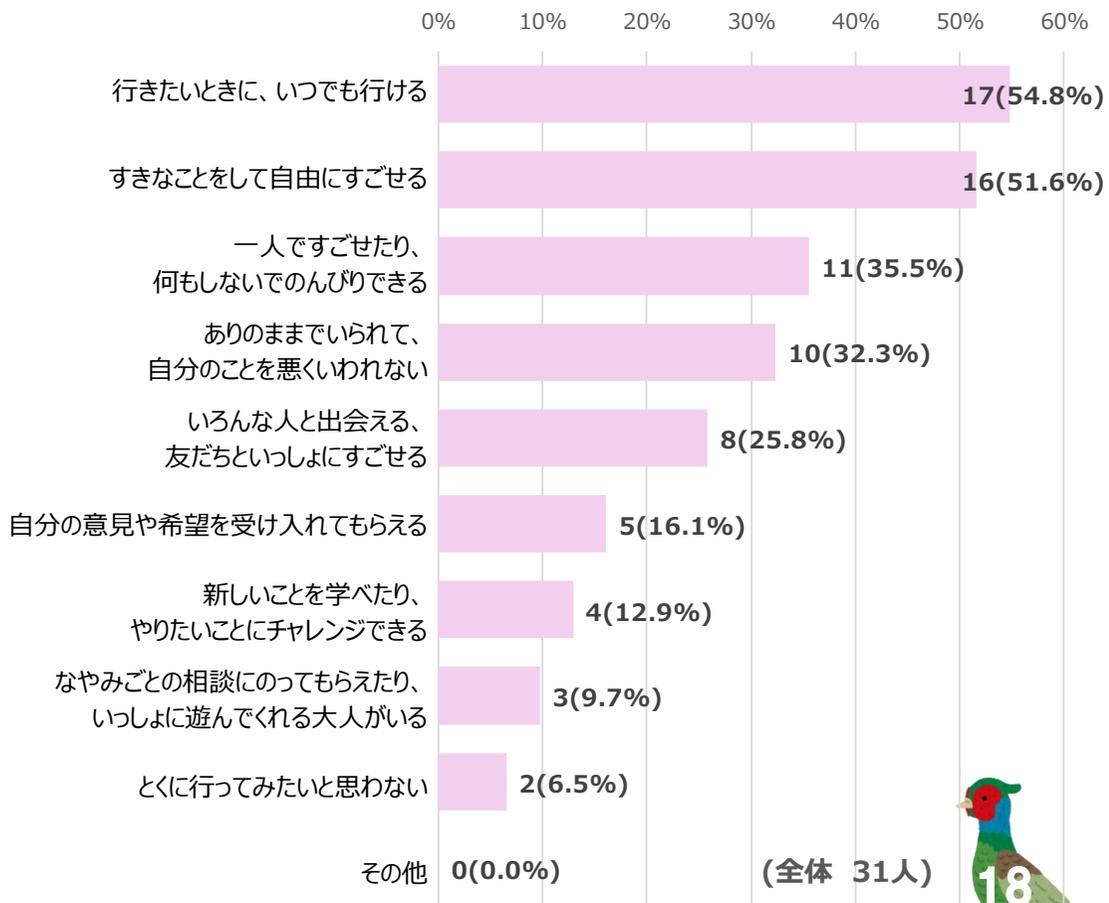
いばしょ

テーマ3 : 子どもの居場所について

問3-2 あなたは、どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。

(いくつでも選んでください) ※問1で居場所が「ない」と答えた人のみ

- どのような場所であれば行ってみたいと思うかについて、「行きたいときに、いつでも行ける」が17人(54.8%)と最も多く、ついで、「好きなことをして自由にすごせる」が16人(51.6%)となっています。また、「一人ですごせたり、何もしないでのんびりできる」や「ありのままでいられて、自分のことを悪くいわれない」がともに3割を超えました。
- 全体として、行きやすさに加え、自由にすごせて安心できる場所を求める声が多くみられます。



5

調査結果

いばしょ

テーマ3 : 子どもの居場所について



いばしょ

問4 子どもの居場所について、ほかにも考えていることや意見がある場合は、自由に書いてください。

《思ったこと》	《してほしいこと》
<ul style="list-style-type: none"> 身近にあって通いやすい雰囲気のある場所、学びを得ながら安全にすごせるような科学館のような場所。 	<ul style="list-style-type: none"> 行きたくても遠い場所があるので、公共交通機関を子どもにも利用しやすくしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 一人になれる場所を作ってもよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自習室がもっとほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 居場所がないと不登校や引きこもりの原因になると思うので、なるべく多くの体験ができるような施設があるといいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設が老朽化したり、設備があまりととのっていない施設も多いので、直してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ファーストプレイスを家、セカンドプレイスを学校や部活とと思っている人々に、そこを安心できる場所だと思えていない子どもたちはどこに行ったらいいのかわかり、しっかり考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後に友達と立ち寄っていっしょに宿題ができるような場所がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 放課後にすごせる場所の確保が重要だと考える。子どもたちが安全に楽しく、自分がやりたいことが目一杯にできる場所や、子ども食堂などの食事支援や学習支援ができる場所を発展・充実させることも大切だと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に子どもたちが遊べる場所が全然ないのでふやしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが騒いでも大丈夫な屋内施設がもっとあるとよいと思う。 	

6

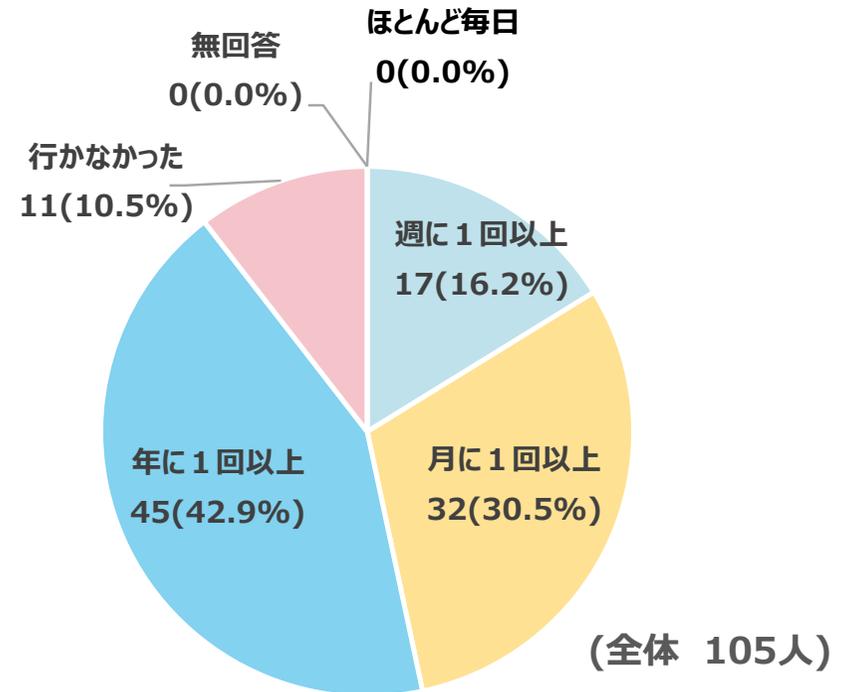
調査結果

テーマ4：公園を使いやすくする取り組みについて



問1 ^{さくねん}昨年、どのくらい公園に行きましたか。^{えら}(一つ選んでください)

- ^{さくねん}昨年、どのくらい公園に行ったかについて、「年もっとに1回以上」が45人(42.9%)と最も多く、ついで「月に1回以上」が32人(30.5%)、「週に1回以上」が17人(16.2%)でした。「月に1回以上」と「週に1回以上」をあわせると46.7%で、半数りよう近くの人が月に1回以上、公園を利用していることがわかります。
- 一方で、「行かなかった」人は11人(10.5%)いました。

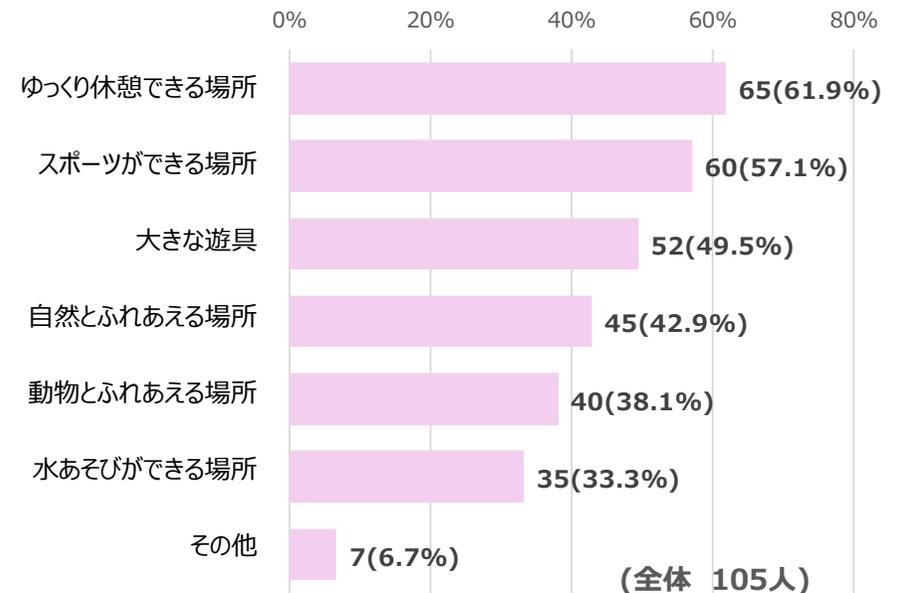




問2 公園にどんな遊びや活動ができる場所があるとうれしいですか。

(いくつでも選んでください)

- 公園にどんな遊びや活動ができる場所があるとうれしいかについて、「ゆっくり休憩できる場所」が65人(61.9%)と最も多く、ついで、「スポーツができる場所」が60人(57.1%)、「大きな遊具」が52人(49.5%)でした。また、自然や動物とふれあえる場所や水あそびができる場所を求める人も3~4割くらいみられました。
- 「その他」では、『トランポリン』、『ひなたぼっこできるところ』、『本が読める建物』、『不審者やクマなどがない安全な場所』、『幼児以外もあそべる場所』、『夏祭り』といった回答がありました。



6

調査結果

テーマ4：公園を使いやすくする取り組みについて



問3 今まで行った公園で「ここがよかった！」と思ったところはどこですか。
その理由も教えてください。(自由に書いてください)

主なご意見

- 大きな遊具があったり、色々な遊び方を考えて飽きないで遊べる場所。自然が豊かで空気がきれいなところ。
- 二戸や一戸などの広くて行きやすい場所がよかった。ポケモン公園は小さい子がたくさんいて気がついた。
- 花見ができたり、小さい動物園で動物とふれあったりできる場所。
- きれいなベンチやひかげがあって休みやすかったところ。
- えぶりこ古墳公園：広くて走り回れるし自由に遊べるから。
- はぎしょうふれあい公園：すべり台が長いから。
- 三ツ石児童公園：近くにお墓があるけど、ひらけていて交番が近いから。
- 花巻広域公園：山に囲まれていて気持ちいいし、いろいろなスポーツをすることができるから。
- うみどり公園：アスレチックやブランコ、珍しい遊具などがあり、親は屋根付きのベンチで休めて、トイレがあり、バスケットコートもあった。
- さいかわ公園：日陰になるところが多くあるから。
- アルテの近くの公園：あまり人がいないので、友達といろいろな話をしやすかった。また、アルテに近いので帰りに寄りやすい。屋根付きのベンチなどがふえたらいいと思う。
- きたぎんボールパークの南公園：広かったし、バスケのゴールなどが設置してあったから。
- 宮古市のユニバーサルデザインの公園：妹や弟と行ったとき、障がいのある人もない人も、みんな遊べて楽しかったから。



6

調査結果

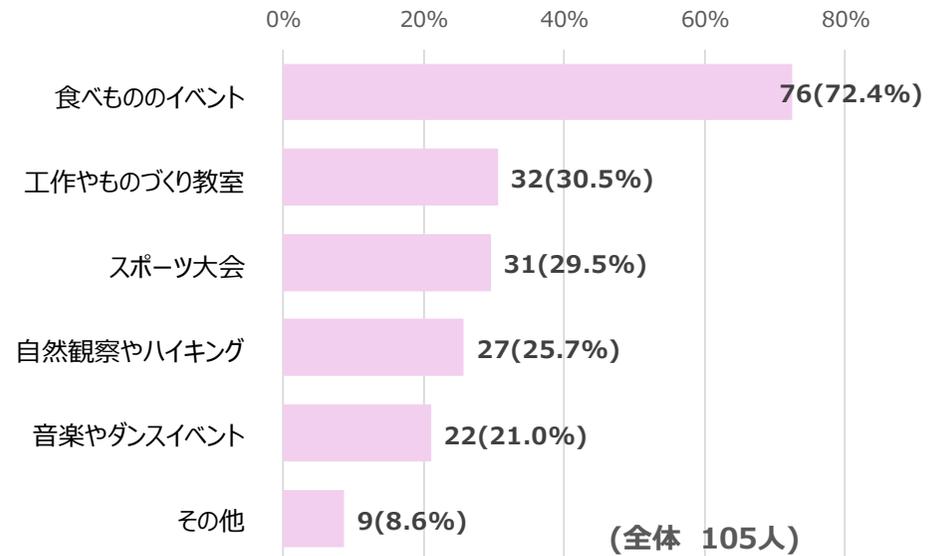
テーマ4 : 公園を使いやすくする取り組みについて



問4 公園でどんなイベントや体験があれば、行ってみたいと思いますか。

えら
(いくつでも選んでください)

- 公園でどんなイベントや体験があれば行ってみたいと思うかについて、最も多かったのは「食べもののイベント」で76人(72.4%)でした。ついで、「工作やものづくり教室」が32人(30.5%)、「スポーツ大会」が31人(29.5%)でした。食べものに関するイベント(屋台、フェスなど)への関心が高く、体験型の企画へのニーズも一定数あることがわかります。
- 「その他」では、『フリーマーケット』、『テントで泊まれるキャンプ体験』、『雑草とり大会』、『有名キャラクターのショー』、『魚釣り、宝さがし、逃走中』などの回答がありました。



6

調査結果

テーマ4：公園を使いやすくする取り組みについて



問5 大きな公園(家族で車で行くような広い公園)には、どんな場所があればよいと思いますか。(いくつでも選んでください)

- 大きな公園にはどんな場所があればよいと思うかについて、「ゆっくり休憩できる場所」が78人(74.3%)で最も多く、「家族や友だちと楽しく遊べる場所」も77人(73.3%)とどちらも7割を超えています。ついで、「スポーツや運動ができる場所」が60人(57.1%)、「自然や動物とふれあえる場所」が57人(54.3%)となりました。遊べる場所と休める場所の両方を求める人が多いことがわかります。
- 「その他」では、『広くて公園に近い駐車場』、『バスケットボールコート』などの回答がありました。

